

SHOW HHEYシネマルーム

★★★

Data

監督：ティム・ミラー
出演：アーノルド・シュワルツェネッガー／リンダ・ハミルトン
／マッケンジー・デイヴィス
／ナタリア・レイエス／ガブリエル・ルナ／ディエゴ・ボネータ／エドワード・ファーロング

ターミネーター ニュー・フェイト

2019年／アメリカ映画
配給：20世紀フォックス映画／129分

2019(平成31)年11月9日鑑賞 TOHOシネマズ西宮OS

■ショートコメント■

◆アーノルド・シュワルツェネッガー主演の『ターミネーター』シリーズは、シルベスター・スタローン主演の『ロッキー』シリーズや『ランボー』シリーズとともに、私たち団塊世代のおやじ(じい?)にとって、忘れられないシリーズもの。『スター・ウォーズ』シリーズもいいのだろうが、やっぱりシンプルなヒーローが大活躍する単純な物語の方がわかりやすい・・・？

◆とは言っても、『ロッキー』シリーズや『ランボー』シリーズに比べると、『ターミネーター』シリーズは少しわかりにくい。なぜなら、そこでは、1997年8月29日＝「審判の日」を巡って、未来と過去が交差するからだ。もちろん、『ターミネーター』シリーズでは、アーノルド・シュワルツェネッガーが演じたターミネーターであるT-800が最大のポイント。そして、そのT-800とシリーズを象徴するヒロインたるサラとの関係がストーリーを牽引してきた。『ターミネーター2』(91年)では、どうやら「審判の日」は回避できたが、それは「人類滅亡の運命」を先延ばしにしたにすぎなかったから、その後の展開は？

◆チラシには、『ターミネーター』シリーズに最も影響を受けた山崎監督が、『ターミネーター:ニュー・フェイト』の期待&必見ポイントを教えます！」としたうえで、次の4つのポイントを解説している。すなわち、

1. キャメロンは続編の天才！

キャメロン監督は観客を“のせる”力がすごいんです。「ターミネーター」は未来を余韻としてにおわせ、完結していましたが、「T2」ではそれをひっくり返し、新たな未来を提示してくれました。「エイリアン2」もそうですが、キャメロンは続編作りがうまい！「T2」以降シリーズから離れたのは、これ以上のカタルシスはないと感じたからでしょう。その彼が帰ってきたのは、すごいアイデアを思いついたから・・・のはず。“続編の天才”

に期待です！

2. REV-9は絶対に倒せない敵！？

液体金属の外皮と金属炭素の内骨格を持っている、最新型のターミネーター“REV-9”。金属炭素はダイヤモンドを圧縮した、より硬質な物質だそうで、これでは倒しようがない。“強い敵”は映画を盛り上げるために欠かせない要素。「T2」のT-1000も、「これだけ強い敵は倒せない」と思わせて、それを乗り越える展開がすごかった。REV-9が簡単に破壊できないとしたら、非破壊的な手段を使うのかも。強敵にどう立ち向かうか注目です。

3. いま一番イケてる監督とのコンビ

今作でキャメロンは製作・ストーリーを務めています、もうひとつ重要なのが監督。キャメロンを選んだティム・ミラーは、「デッドプール」で世界中のド肝を抜いた注目の監督です。「ターミネーター」シリーズは、キャメロンにとって原点というべき大切な作品なので、アクション・エンタテインメントを撮らせたらいま一番イケてるミラーに任せたのも納得。キャメロンとミラーがコンビを組むとは、うれしいサプライズですね。

4. ただのフィクションなのではなく現実と地続きの物語

AIが人類に宣戦を布告する「ターミネーター」シリーズは、僕らの暮らしの延長線上にある物語。もしかしたら近い将来に起きるかも・・・という地に足をつけた世界観と、それを踏まえてエモーショナルなドラマを作り上げたところが魅力です。未来と現在のつなげ方も理にかなっている。今作も、リアルな怖さを持ちながら、SFならではのイマジネーションを詰め込んだエンタテインメントになるでしょう。

◆また、チラシによれば、本作の「ココが気になる！」点は、次の4つだ。すなわち、

1. T-800が強力な助っ人に！？サラ・コナーの言葉の真意は・・・？

シリーズ1作目では敵、2作目では味方だったサラ・コナー（リンダ・ハミルトン）とT-800（アーノルド・シュワルツェネッガー）が再登場。T-800は前作で溶鉱炉に沈み消滅したはずだが・・・。予告編では、T-800にいきなり銃をぶっ放し、「すべて片付いたらあなた（T-800）を殺すわ」と言い放つサラ。いまの2人の関係は・・・！？

2. ジェームズ・キャメロンならではのドラマチックな展開が待ち受ける！？

シリーズを象徴するヒロインのサラ、スーパーソルジャーのグレース、人類の命運を握るダニーといった、キャメロン作品らしい“力強い女性”が躍動！「T2」同様、アクション大作としての見どころだけでなく、魅力的な人物が織りなす家族の絆や自己犠牲といったドラマに、現代社会を反映したテーマが合わさって、奥深い感動を生み出す！？

3. “審判の日”は起きなかったが人類の運命は変わらない!?

自我に目覚めた人工知能“スカイネット”が人類を殲滅すべく核戦争を引き起こす、1997年8月29日＝“審判の日”。「T2」でのサラたちの活躍により、この“審判の日”は回避されたが、“人類滅亡の運命”は先延ばしにされただけだった・・・!?

4. 注目の新キャラREV-9&スーパーソルジャーとは!?

人類存亡のキーマン、ダニー（ナタリア・レイエス）を殺すべく未来から現れたのが、分離可能な液体金属の外皮と、金属炭素製の内骨格を持つ最新型ターミネーター“REV-9”。これに対し、スーパーソルジャー＝強化型兵士のグレース（マッケンジー・デイヴィス）がダニーを守るために奮闘する!

◆しかして、チラシには次のうたい文句が躍っている。すわなち、「あの『ターミネーター2』の正統な続編に、3人のレジェンドがBe Back! ノンストップ超ド級アクションと胸を打つ自己犠牲のドラマ、人類の運命を共に見届けよ!」
そんな本作は、あなた自身の目でしっかりと。

2019（令和元）年11月14日記